

## 授業改善推進プラン

### 【音楽科】

学年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現のための基本的な技能が身につけていない。合わせる事が得意でない生徒が多い。</li> <li>・恥ずかしがらず大きな声で歌うことができない。</li> <li>・どのように表現するかという思いや意図をもち、言葉で伝え合ったり工夫したりする力が弱い。</li> </ul>	<p>【短期】毎時間の導入で体操や発声練習などにきちんと取り組ませ、技能の向上を目指す。器楽（リコーダー）は検定を行う。曲想などをワードカードから選ぶ活動を通して、音楽的語彙を身につける。</p> <p>【中・長期】生徒たちで充実したパート練習ができるよう、練習のポイントを授業で教え、徐々にリーダーに役割を移行する。現在個人で行っている体操を、友達と一緒にリズムに合わせて行わせる。鑑賞の授業を通して、色々な音楽やそれを説明する言葉に触れさせる。</p>
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現のための基本的な技能は身につけてきたが、どのように表現するかという思いを言葉で伝え合ったり、工夫して表現したりする力が弱い。</li> </ul>	<p>【短期】合唱授業における一斉指導の中で、歌詞と強弱表現の関わりを考えさせたり、鑑賞授業の中で色々な音楽やそれを説明する言葉に触れさせたりする。</p> <p>【中・長期】パート練習の中で“曲想”を深める意見が出し合えるよう、「本時のねらい」をより明確に伝え、思いや意図をもって表現できるような練習をさせる。まず教師がポイントを示し、リーダーにしっかり理解させる。</p>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱の発声において、女子で地声になりがちな生徒、男子で声の張りがない生徒がいる。</li> <li>・楽譜から情報を読み取って表現することができる生徒もいるが、苦手な生徒も多い。</li> </ul>	<p>【短期】毎時間の導入で体操や発声練習などを積み重ね、その都度ポイントをしっかり指導する。歌詞と曲想との関わりを読み取る活動を増やし、ワードカードなどで分かりやすく説明する。</p> <p>【中・長期】発声練習で行ったことが曲の中で生かせるよう、パート練習でも声の響きを意識させる。鑑賞の授業では「ディズニーっぽい」などの表現になりがちなので、「どうして・どこが」そう感じるのか、というところまで対話の中で深めさせる。</p>